

**厚生労働科学研究費補助金（医療技術実用化総合研究事業）  
（分担）研究報告書**

初発膠芽腫に対する新規放射線化学療法による有効治療法確立のための臨床研究  
研究分担者 森内 秀祐 りんくう総合医療センター脳神経外科・部長

**研究要旨**

**研究要旨**

初発膠芽腫に対してホウ素中性子補足療法（BNCT）、X線の分割外照射、Temozolomide（TMZ）による化学療法の併用療法を行い、これまでのX線とTMZとの併用治療群と比較することにより、BNCTの有効性と安全性を検証する多施設間共同研究に参加した。

**A．研究目的**

腫瘍のみに選択的に放射線治療を行うBNCTの臨床効果を検証する。

**B．研究方法**

大阪医大を中心とする多施設間共同研究体制に入り、策定されたプロトコルに乗っ取り、同意を得た患者にBNCTによる治療を施行し、患者のフォローアップを行う。（倫理面への配慮）

臨床研究プロトコルはりんくう総合医療センター倫理委員会によって審議され承認済みである。患者には十分な説明を行い、同意を書面で得た後に研究参加していただく。

**C．研究結果**

平成25年度は原子炉の稼働時間が限られたこともあり、症例登録がゼロであった。

**D．考察**

考察できる材料はない。

**E．結論**

プロトコルを順守し、症例登録に協力していく。

**F．健康危険情報**

総括研究報告書参照

**G．研究発表**

**1. 論文発表**

1) 森内秀祐、他6名（1）Use of 5-aminolevulinic acid to detect residual meningioma and ensure total removal while avoiding neurological deficits. J Neurology Neurophysiology, 4:159-162, 2013

**2. 学会発表**

1) 森内秀祐、他3名（1）MGMTプロモーター非メチル化膠芽腫に対する免疫細胞治療およびベバシズマブ療法有効例. 日本脳腫瘍学会学術集会 2013Dec宮崎  
2) 森内秀祐、他5名（1）Use of 5-aminolevulinic acid for detection of residual meningioma for total removal and avoidance of neurological deficits 4th Quadrennial Meeting of the World Federation of Neuro-Oncology. 2013 Nov. San Francisco, CA, USA

**H．知的財産権の出願・登録状況  
（予定を含む。）**

**1. 特許取得**

なし

**2. 実用新案登録**

なし

**3. その他**

特記事項なし